

2004年6月17日

県民意識調査
参院選 1カ月前
報告書

(2004年6月12日～14日調査)

調査の設計	1
結果の概要	3



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

第 20 回参院選は 6 月 24 日公示、7 月 11 日投票の日程で行われる。内政面では年金制度改革、外交面では自衛隊のイラク派遣、北朝鮮の核・拉致被害者救済の問題が緊張をはらんだ状況下で、国民の審判を受ける。

年金改革は国会審議の最中に、小泉首相自身や主要閣僚、民主、公明両党首らの未加入・未納が数珠つなぎ状態で発覚したが、制度の根幹を揺るがず政治責任を置き去りにしたままで改革法案は成立。政治不信が高まる中での今回選挙は、投票率の行方が懸念されている。

イラク派遣の自衛隊は、日本国憲法との整合性への疑問符が払拭されないまま、米国シーアイランド・サミットで小泉首相が主権委譲後の多国籍軍派遣をいち早く対米表明した。北朝鮮の拉致問題は、小泉首相の 2 度目の訪問でも積み残しになった。その深刻さのために、肝心の核問題が日本の世論には、なかなか視野に入っていない。

ようやく回復基調に乗った景況に逆行するかのように、不安定要素を抱え、国家の方向性を示せない政治の実情を、県民各層はどのように見つめ、どのような期待を込めて一票を投じようとしているのか。「参院選 1 カ月前」のタイミングで、世論の動向を探る。

調査の設計

調査対象 長野県内に住む 20～70 代の 1000 人（男性 490 人 女性 510 人）

抽出方法 対象者 1000 人が“県内有権者の縮図”となるように、東北中南の 4 地域に層化し、有権者比率を基に、県下 117 市町村の中から、一定のルールで 46 市町村を抽出。さらに、市町村ごとの対象者数を性別、年代層（県平均比率）に設定した。

調査方法 電話による聞き取り。N T T 電話帳から一定のルールにより無作為抽出した世帯から 1 人を対象者とし、地域、年代、性別の設定を目標に抽出していく。

調査期間 2004 年 6 月 12 日～14 日

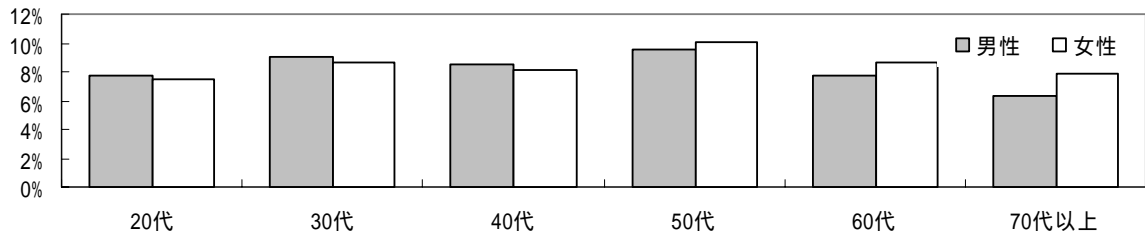
回答地点 17 市 17 町 12 村

回収結果 1000 人（男性 490 人、女性 510 人）。全体の目標数を満たすまでコール（抽出）した。

サンプルの内訳

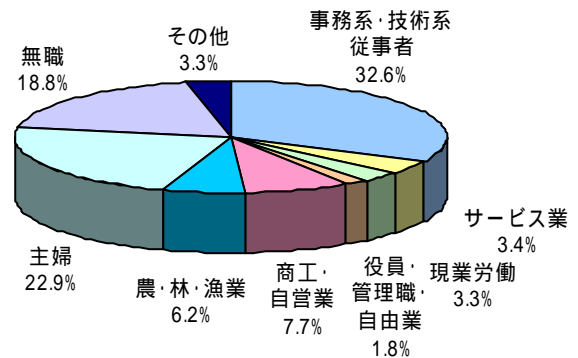
【性別と年代】

	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	1000	153	177	166	197	165	142
	100.0%	15.3%	17.7%	16.6%	19.7%	16.5%	14.2%
男性	490	78	90	85	96	78	63
	49.0%	7.8%	9.0%	8.5%	9.6%	7.8%	6.3%
女性	510	75	87	81	101	87	79
	51.0%	7.5%	8.7%	8.1%	10.1%	8.7%	7.9%



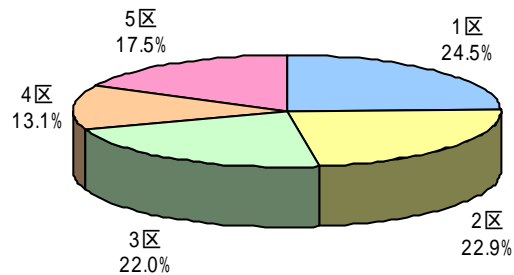
【職業】

事務系・技術系従事者	326	32.6%
サービス業	34	3.4%
現業労働	33	3.3%
役員・管理職・自由業	18	1.8%
商工・自営業	77	7.7%
農・林・漁業	62	6.2%
主婦	229	22.9%
無職	188	18.8%
その他	33	3.3%



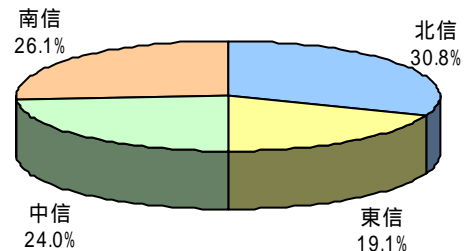
【選挙区】

1区	245	24.5%
2区	229	22.9%
3区	220	22.0%
4区	131	13.1%
5区	175	17.5%



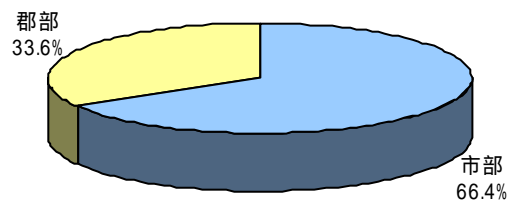
【地域】

北信	308	30.8%
東信	191	19.1%
中信	240	24.0%
南信	261	26.1%



【市郡別】

市部	664	66.4%
郡部	336	33.6%

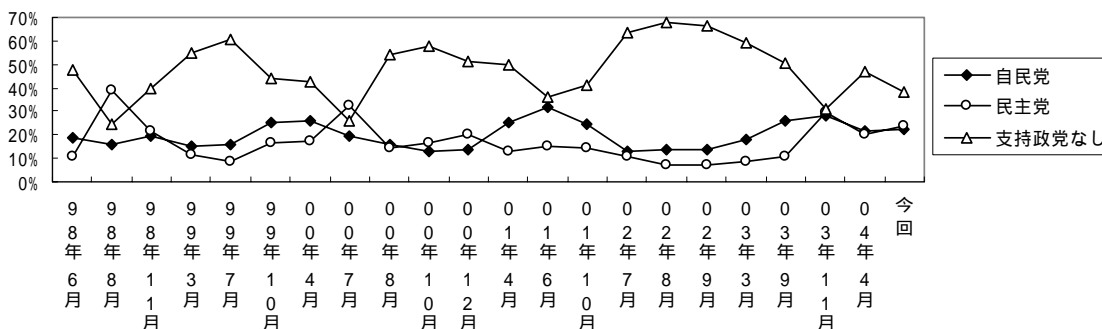


結果の概要

政党支持 - 民主 23.8%、自民 22.1%、無党派 38.0%

参院選 1 カ月前の段階で、民主党が 23.8%と僅かながら自民党を抑えて支持率トップ。しかし、男性 30% - 女性 18%といったアンバランスは変わらない。3 位からは 4 %台の共産党、公明党、社民党の順で続く。支持政党なし層は 38%。

3 年前、発足したばかりの小泉首相人気の追い風で、自民党が 31.6%に支持率（投票したい党）を伸ばし、民主党がその半分程度だった状況から一変しての参院選となる。



参院選の投票・県区 - 民主 20%、自民 17%、未定 48%

県区で投票したい候補の政党は民主党 20.2%、自民党が 16.9%の僅差で、政党支持率にほぼ連動。今のところ未定がおよそ半数を占める。選挙区別では、民主党が 3 区で差をつけているが、他の 4 つの区では伯仲状態となっている。

議席増加の期待 - 野党 56%、与党 31%

与党と野党の議席争いで、今回の選挙で増えてほしいのは野党 56%、与党は 31%と 25 ポイントの差が出た。女性で与党が 36%に増え、男性では野党が 66%にのぼり、女性とは 20 ポイント近い差がある。

無党派層は与党 20% - 野党 63%と、野党寄りに傾く。

“岡田民主党”に「期待する」48% 「期待せず」43%

年金問題で二転三転した中から、急きょ登場した岡田克也民主党代表に期待が 48%、期待しないのは 43%と接近した。男性で期待感が半数を超え、年代層では 40 代～60 代で同様の高さを示す。職業層ではサービス業、管理職層で高めに出ている。自民党の支持層では好意的なスタンスが 30%を超えている一方で、無党派層では伯仲状態にある。

年金改革法案の成立「よくない」78%

与野党の党首らの国民年金未加入・未納発覚の中での関連法案の成立に「よかった」が 13%だったのに対して「よくなかった」が 78%にのぼった。男性の方の反応が厳しく出ており、40 代～60 代では 80%を超える。

小泉首相本人を含む政治家の一連の未加入・未納問題の処理については「よい」は 12%に対して「よくない」は 83%。

自衛隊の多国籍軍参加「好ましくない」70%

主権委譲後のイラクの多国籍軍に、自衛隊を参加させることに「好ましい」が23%で「好ましくない」は70%と3倍以上を占めた。

イラクへの自衛隊の派遣自体は「評価しない」が56%と半数を超え「評価する」(43%)と10ポイント以上の差が出た。

派遣の自衛隊に不測の事態が生じた場合に「撤退すべきだ」が72%で「撤退することはない」は23%。

小泉首相の再訪朝「評価する」76%

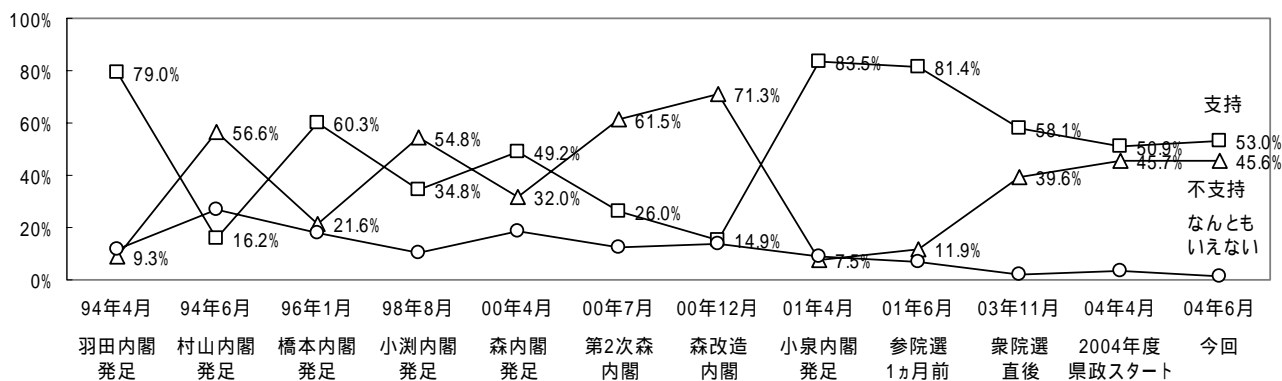
北朝鮮再訪には「評価する」が76%、否定的な反応は23%。女性の評価が高めに出た。小泉内閣の支持層では9割超す。

拉致問題の取り組みには、67%が肯定的に評価し、20代では76%にのぼる。否定的な評価は32%で、50代や無職層で40%近くに増えている。

小泉内閣支持 53.0% 不支持 45.6%

小泉内閣を「支持する」は総体で53.0%。今年4月の「2004年度県政スタート」調査に比べて、支持率はわずかながら上昇。しかし、そのうち消極的な「まあ支持する」が41%ある。不支持は総体で45.6%。4月時点からは横ばい状態。

女性の支持が60%に迫り、男性では不支持が半数を超え、40代～50代も厳しい評価が過半数になっている。政党支持層では公明党で、支持が自民党を上回り90%台に達した。無党派層は支持46%に対して不支持が54%と逆転している。



田中知事・県政「支持する」53.4% 不支持 44.5%

田中知事・県政の支持は53.4%。61.4%の過去最低になった4月の「2004年度県政スタート」調査よりも、さらに8ポイント減少し、就任以来7回の一般県民対象の調査で、初めて50%台に落ちた。不支持は44.5%と初めて40%を超えた。

女性の支持が60%近い高さの一方で、男性の不支持は逆転して半数に達した。職業層では主婦層で支持が高めだが、不支持では管理職層で67%。選挙区別では5区61% - 2区48%の落差が生じた。

「参院選 1カ月前」調査結果

問1 今の国の政治に満足していますか

	全体	男性	女性
満足している	1.9%	2.0%	1.8%
まあ満足している	22.7%	22.2%	23.1%
あまり満足して いない	44.7%	41.8%	47.5%
満足していない	29.7%	33.3%	26.3%
なんともいえない・ わからない	1.0%	0.6%	1.4%

問2 今回の参院選では、何が争点であるべきだと思いますか(2つ以内)

	全体	男性	女性
景気・雇用	44.2%	43.9%	44.5%
医療・福祉	38.7%	29.4%	47.6%
外交・安全保障	26.4%	29.4%	23.5%
政治のあり方	20.8%	24.1%	17.6%
教育	17.3%	13.7%	20.8%
財政・金融	15.1%	18.8%	11.6%
憲法	9.2%	11.0%	7.5%
環境	8.2%	7.3%	9.0%
その他	1.0%	1.2%	0.8%
なんともいえない・ わからない	1.7%	1.2%	2.2%

問3-A 年金改革の国会審議について

	全体	男性	女性
法案成立はよかった	12.8%	12.4%	13.1%
法案成立は よくなかった	77.6%	81.8%	73.5%
なんともいえない・ わからない	9.6%	5.7%	13.3%

問3-B 小泉首相本人を含む年金未加入・未納問題の対応について

	全体	男性	女性
よい	11.9%	13.3%	10.6%
よくない	82.6%	82.2%	82.9%
なんともいえない・ わからない	5.5%	4.5%	6.5%

問4-A 道路公団民営化について

	全体	男性	女性
説明は足りている	11.6%	12.4%	10.8%
説明が不足している	81.1%	83.5%	78.8%
なんともいえない・ わからない	7.3%	4.1%	10.4%

問4-B 国と地方財政の三位一体改革について

	全体	男性	女性
説明は足りている	6.7%	6.9%	6.5%
説明が不足している	84.8%	88.0%	81.8%
なんともいえない・ わからない	8.5%	5.1%	11.8%

問5-A 北朝鮮の再訪問について

	全体	男性	女性
評価する	24.0%	25.9%	22.2%
まあ評価する	52.4%	46.9%	57.6%
あまり評価しない	17.4%	19.4%	15.5%
評価しない	5.7%	7.3%	4.1%
なんともいえない・ わからない	0.5%	0.4%	0.6%

問5-B 拉致問題の取り組みについて

	全体	男性	女性
評価する	20.1%	20.0%	20.2%
まあ評価する	46.7%	47.3%	46.1%
あまり評価しない	24.6%	21.8%	27.3%
評価しない	7.1%	10.0%	4.3%
なんともいえない・ わからない	1.5%	0.8%	2.2%

問6-A 自衛隊のイラク派遣について

	全体	男性	女性
評価する	13.4%	15.5%	11.4%
まあ評価する	29.1%	29.6%	28.6%
あまり評価しない	35.9%	35.5%	36.3%
評価しない	20.1%	19.0%	21.2%
なんともいえない・ わからない	1.5%	0.4%	2.5%

問6-B 現地の自衛隊に不測の事態が起きたとき

	全体	男性	女性
撤退すべきだ	71.7%	62.9%	80.2%
撤退することはない	22.7%	32.7%	13.1%
なんともいえない・ わからない	5.6%	4.5%	6.7%

問6-C 自衛隊の多国籍軍参加について

	全体	男性	女性
好ましい	22.6%	28.4%	17.1%
好ましくない	69.5%	65.1%	73.7%
なんともいえない・ わからない	7.9%	6.5%	9.2%

問7-A 憲法改定の準備について

	全体	男性	女性
急ぐべきだ	39.4%	33.9%	44.7%
急ぐことはない	54.1%	63.7%	44.9%
なんともいえない・ わからない	6.5%	2.4%	10.4%

問7-B 国会の衆議院・参議院を一院制にすることについて

	全体	男性	女性
好ましい	38.3%	42.0%	34.7%
好ましくない	47.7%	51.2%	44.3%
なんともいえない・わからない	14.0%	6.7%	21.0%

問8 小泉内閣を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	12.1%	12.9%	11.4%
まあ支持する	40.9%	35.5%	46.1%
あまり支持しない	29.7%	31.8%	27.6%
支持しない	15.9%	18.8%	13.1%
なんともいえない・わからない	1.4%	1.0%	1.8%

問9 今回の参院選で、もし投票するなら、比例代表ではどの政党・またはどの政党の候補者に投票したいですか

	全体	男性	女性
民主党	20.2%	26.7%	13.9%
自民党	18.6%	18.4%	18.8%
共産党	3.7%	2.9%	4.5%
公明党	3.5%	2.7%	4.3%
社民党	2.0%	2.2%	1.8%
みどりの会議	0.1%	0.0%	0.2%
その他の政党	0.3%	0.4%	0.2%
今のところ投票したい政党・候補者はいない	46.1%	41.6%	50.4%
なんともいえない・答えたくない	5.5%	5.1%	5.9%

問10 今回の参院選で、もし投票するなら、長野県区ではどの政党の候補者に投票したいですか

	全体	男性	女性
民主党	20.2%	25.9%	14.7%
自民党	16.9%	17.3%	16.5%
共産党	3.9%	3.3%	4.5%
無所属	3.4%	3.9%	2.9%
社民党	2.3%	2.2%	2.4%
今のところ投票したい候補者はいない	48.1%	43.3%	52.7%
なんともいえない・答えたくない	5.2%	4.1%	6.3%

問11 昨年秋の衆院選の比例代表と小選挙区では、与党と野党のどちらの政党または候補者に投票しましたか

	全体	男性	女性
与党	29.3%	27.1%	31.4%
野党	40.0%	47.6%	32.7%
与党と野党の両方	7.8%	7.8%	7.8%

はっきりしない	10.5%	7.1%	13.7%
投票しなかった	10.5%	9.4%	11.6%
答えたくない	1.9%	1.0%	2.7%

問12 今回の参院選で、投票に行く・行かないにかかわらず、小泉内閣を「支持する与党」と「支持しない野党」のどちらの議席が増えてほしいですか

	全体	男性	女性
与党	31.3%	26.5%	35.9%
野党	56.3%	65.5%	47.5%
どちらともいえない・わからない	12.4%	8.0%	16.7%

問13 岡田克也・新代表が率いる民主党に期待しますか

	全体	男性	女性
期待する	47.7%	51.2%	44.3%
期待しない	42.5%	43.1%	42.0%
なんともいえない・わからない	9.8%	5.7%	13.7%

問14 今度の参院選では投票に行きますか

	全体	男性	女性
行く	68.1%	70.8%	65.5%
たぶん行く	24.7%	21.6%	27.6%
たぶん行かない	4.1%	3.5%	4.7%
行かない	1.4%	2.2%	0.6%
なんともいえない・わからない	1.7%	1.8%	1.6%

問15 どの政党を支持しますか

	全体	男性	女性
民主党	23.8%	30.2%	17.6%
自民党	22.1%	21.0%	23.1%
共産党	3.7%	2.9%	4.5%
公明党	3.3%	2.4%	4.1%
社民党	2.6%	3.1%	2.2%
その他の政党	0.4%	0.4%	0.4%
支持する政党はない	38.0%	37.6%	38.4%
なんともいえない・答えたくない	6.1%	2.4%	9.6%

問16 田中知事・県政を支持しますか

	全体	男性	女性
支持する	17.9%	17.3%	18.4%
まあ支持する	35.5%	31.4%	39.4%
あまり支持しない	24.9%	25.9%	23.9%
支持しない	19.6%	24.5%	14.9%
なんともいえない・わからない	2.1%	0.8%	3.3%